

当面のとりまとめの方向性について

第4回会合（6月中旬開催予定）では、高齢者の移動手段の確保等に向けた緊急提言という性格の「中間とりまとめ」を予定。その際、緊急の課題として、高齢者向けの輸送サービスの確保・充実のための方策に重点を置くこととし、以下のような具体案を提示することとしてはどうか。

1. 高齢者向け輸送サービスの確保・充実

(1) コミュニティバス・乗合タクシーについて

- ・高齢者に利用しやすいサービスの導入に向けた自治体等との連携

(2) タクシーの活用について

- ・利用者間の相乗りの促進
- ・UDタクシーの導入促進
- ・貨客混載の推進
- ・過疎地におけるサービス維持のための規制緩和

(3) 自家用有償輸送について

- ・導入手続の合理化
- ・規制緩和
- ・貨客混載の促進

(4) 「共助」による運送について

- ・導入ルールの明確化
- ・実施可能な種類の提示

(5) 福祉との連携について

- ・地域における協議体と交通関連の協議会レベルでの協働
- ・介護保険制度等における輸送サービスの活用

2. その他の検討課題

○高齢者に配慮した交通サービスのあり方

（※6月までの限られた期間では、広範な議論を尽くすことが困難なため、視点の整理にとどめる。別紙参照。）

（ 以 上 ）

○ 位置付け

- これまでの地域公共交通については、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正等もあり、地域が主体となった地域公共交通ネットワークの再構築が推進されてきたところ
- 一方で、昨今、高齢運転者による交通死亡事故の相次ぐ発生や改正道路交通法の施行等を背景に、**高齢者が自家用車に依存しなくとも安心して移動できる環境の整備**の必要性が高まり

○ 高齢者の生活・外出特性について

【高齢者の生活特性】

- 1日のうち自由時間の占める割合が高い
- 自由に使える時間での活動内容が多様化している

【高齢者の移動特性】

- **徒歩可能距離が短い**
- 非高齢者に比べ通勤等定常的な移動が少なく、**多様かつ自由な時間設定に基づく移動需要が中心**
- **目的施設毎に利用時間帯の傾向が存在**
- 年齢が上がるに連れ、外出率が低下
(地方部、免許非保有の場合は、その傾向が顕著)

【高齢者の移動におけるニーズ】

- 所得水準が非高齢者よりも低いことを踏まえ、**利用しやすいサービスの提供**が必要
- 段差や乗継ぎ等の**ストレスなく移動できる環境整備**が必要
- デマンド型交通の需要の高まりに応じて**必要性の増すICT**については、**その活用を継続して検討**していく必要

○ 具体的なニーズの把握・分析と対策

- 左記の一般的な特性の認識に加え、地域に実際に住んでいる高齢者のニーズを把握、分析を通じて対策を検討
 - 無理なく歩ける距離として「100m未満」を選択するのは、非高齢者は1%だが、高齢者は10% (75歳以上17%)
⇒ **停留所配置の配慮やドアtoドアサービスの検討**が必要
 - 上下動や長時間立ち続けることが困難
⇒ **バリアフリー対応や待合施設整備**が必要
 - 買物や通院、余暇等、非定常かつ本人の意思により変化する需要に基づく移動が中心
⇒ **デマンド型交通の検討**が必要
 - 目的施設の利用時間帯に高齢者特有の傾向が存在
(ピーク時間帯の例：通院→午前／買物→午前及び午後)
⇒ **コミュニティバスや乗合タクシーも有効だが、利用時間帯の傾向に留意**が必要
 - 高齢化に伴い、外出率が低下(特に地方部、免許非保有の場合)
⇒ 最低限の「ニーズ」に留まらず、**「ウォンツ」も併せて把握し、公共交通利用を含めたおでかけの目的づくりが重要**
 - 高齢者「専用」のサービス提供が持続可能性の観点から難しい場合には、一般利用者の取り込みにも配慮する必要